

近づく産業文化祭

市町村協議会 五日に對策を協議

毎年秋のとり入れが終つてから開かれる「石城産業文化祭」は、本月二十三日開演の日を中心として三日間に亘つて盛大に行われる予定だが、毎年開演となる開催地などについては各市町それぞれが考へておられるから、石城市町村協議会では、これらの方針をききあはせ、五日午後一時三十分から石城財務事務所会議室で各市町村協議会代表者を招き協議することになった。本報開催について協議は、本市に開催するものと見られていたが、協議は、本市だけの文化祭になった感があるといわれている。石城産業文化祭を石城地方全体の文化祭として、この動きが強い。開催地と協力市町村で、この点について話し合ひが行われることになっている。

船中で大手術

重傷の漁夫危く救われる

小名浜の漁船が約二年前、イル沖の海上で作業者の重傷を負つた。この重傷を負つた作業者は、医師をよせ、救命の手術を受けた。この手術は、船中で大手術として行われ、重傷を負つた作業者は、救命の手術を受けた。この手術は、船中で大手術として行われ、重傷を負つた作業者は、救命の手術を受けた。

公民館主催の映画會に 縣業者から横槍

四倉 予定くるい騒ぎ

映画のフィルムのことから映画館側と公民館側が対立して上映する日数が約一週間も遅れた。この間に公民館側は、業者から横槍が入り、上映の予定がくるい騒ぎになっている。

縣下一の消費量

石城の人は肉がお好き

秋も深まり肉類の消費量が急増している。石城の人は肉がお好きで、消費量が他の地域よりも多い。これは、石城の肉類消費量の増加を示している。

民生委員推せん会

石城地方各市町村の民生委員は、十一月二十日、任期が切れる。このため、各市町村で民生委員推せん会が開催され、新しい民生委員を選出する。推せん委員は、各町で選出され、十一月二十日に任期が切れる。

詐欺捕ら

平野は一日郡山生れ住居不届無羽根十周年「たすけあい」作文を募集することになった。詐欺師が作文を募集するのを狙って詐欺行為を行った。

助け合い文を募集

小中学生から助け合い文を募集する。これは、小中学生が助け合いの大切さを学ぶための活動である。

簿記実務検定試験

四倉町工業会が主催する簿記実務検定試験が十一月二十五日に行われる。これは、簿記実務の検定試験である。

大木屋の銘菓

大木屋の銘菓、一六〇九。これは、大木屋の伝統的な銘菓である。

四倉で商業簿記講習會

四倉町工業会が主催する商業簿記講習會が十一月二十三日に行われる。これは、商業簿記の講習會である。

具里親大会

小野さんから表彰。具里親大会で表彰された。これは、具里親大会の表彰である。

後藤医師の美拳

平市古鎮治医師後藤金久氏。これは、後藤医師の美拳に関する記事である。

あるが

あるが。これは、あるがに関する記事である。

磐農高で牛乳販売

磐農高で牛乳販売。これは、磐農高で牛乳販売に関する記事である。

カメラ田中

カメラ田中。これは、カメラ田中に関する記事である。

助手は即死

助手は即死。これは、助手は即死に関する記事である。

トラック列車と衝突

トラック列車と衝突。これは、トラック列車と衝突に関する記事である。

新聞にきょうも生きてる民の聲

(第九回新聞週間代表標語)

四倉町役場
町長 吉田 壽三郎
助役 西山 徳一
収入役 酒井 忠太
外 田 一

四倉町議會議員
文教衛生委員 片 奇 甚之丞
四倉町議會議員
経済委員長 江 口 勇

四倉教育委員会
教育委員長 高 木 憲平
教育長 渡 辺 三平

四倉町議會議員
総務委員長 鈴 木 文夫

四倉町議會議員
土木委員長 吉 田 正

四倉町議會議員
町長 新 妻 常吉
副町長 鈴 木 明
外 田 一

解説 「風雲黒丸」

次に伏見扇太郎主演作品。正義と平和を愛する若き緑眼童子が、正しく正しい若人の勝利を掲げ、角田喜久雄の痛快同名小説の映画化で「海の百万石」の内田好吉が快脚のメロドラマを飾る痛快傑作。因州新田藩に孤立的な春姫の苦境を、八丁堀の名手方と、愉快な推測とアクションで立派な謎に解き出す痛快無類の冒険物語は、江戸に始まりそして江戸を甲斐の山脈を舞台に無敵無しの大活躍を演ずる初秋唯一の話題作である。

東映劇場

スタツフ

企画……大森 廉正
原作……角田喜久雄
脚本……土屋 欣三
監督……松本 昌昌
撮影……内出 好吉
音楽……藤井 春美
音響……白木 信徳
キヤスト
源 八……徳大寺 伸
お 品……星 美智子
お 峯……月丘 千秋
お 春……三笠 博子
前島三郎兵衛……原 健策
前島小次郎……伏見扇太郎
緑眼童子……伏見扇太郎
源 八……徳大寺 伸

今晚の映画

…世界館…
7.00 スタジオは大騒ぎ
8.02 南極探検船団
8.50 日本かく戦えり
2日マデ・電58
…民 劇…
7.00 箱入娘と番頭
8.10 五十年目の浮気
9.00 ロマンズ娘
2日マデ・電1322
…東映劇場…
7.00 地下鉄三四郎
8.26 忍術怪男児
2日マデ・電65
…ひかり座…
6.05 恋愛時代
8.08 愛情物語
8日マデ・電1338
…聚楽館…
7.05 東方の雷鳴
8.55 スカートを着た中尉さん
8日マデ・電470
…平 館…
7.00 わが町
8.55 三羽鳥再会す
2日マデ・電466

今晚のラジオ

NHK (第一)
6.00 シンブン
6.25 七つの薔い
6.40 スポーツだよ
7.15 録音ニュース
7.30 話の泉
8.00 素人即席演芸会
8.30 民間を訪ねて
8.45 相棒道中
9.40 時の動き
10.15 音楽の姿
ラジオ福島
6.05 トニーの歌謡
6.15 メロディ音楽特集
6.40 桜花天狗
7.15 人情夜話
7.30 お笑い街頭録音
8.00 日立劇場
8.30 パンピタンアワー
9.00 演 曲
9.30 夢のステージ
10.05 名作アルバム
10.25 福島昔ばなし
10.40 夜の希望音楽会
11.05 時事解説



緑眼童子の伏見扇太郎

正義と平和を愛す 謎の美剣士 緑眼童子の活躍

物語一 この物語は、遠藤五郎、夜霧が深くたれた江戸橋の屋敷で起つた。世にも奇怪な事件から始まります。確かに、一人の武士が斬られたはずなのにその死がいつの間にか消えていたのです。因州新田藩、松平家の家臣でありました。ある事情で浪人してから二十年、今は江戸で漢字のじくを請うて、一人の成長を唯一の楽しみとして居る前島三郎兵衛。

怪奇 なかより仕掛の謎、幾度か身を危険の淵にさらしながらも、遂に目的の条件内の死がいを察し出し、死がいの目にはめられた水晶を抜きとらんとしましたが、その瞬間、又しても悪人達に捕縛され、再び窮地に身を追い込まれた。果たして小次郎は首尾よく危機を脱することができるでしょうか……

ラジオ月賦

三幸電部 506
平三電

解決篇

梅次郎の妹婿は、お光の方助郎由一派の奸計を知っているだけに、乳母のお茶と心を併せ、兄の行方を探る。探してはいるわけですが、そのころ、この事件が持ち上ったのですから、小次郎も数々進歩の運びかまえてはいるわけには参りません。然るもこの緑眼童子と名乗る奇様な人物がゴッソリと現われ、丸で事件の余韻を醸しているかの如く流石に飛び込み、悪人一味に打ち勝つて、小次郎の行方を探りました。春姫が兄梅次郎の行方を探しにやつた安藤石門は、春姫の別邸の前で物騒由一派の暗殺者、黒

中軍兵衛の手にかかつて果てたその上、最後の頼みとして、梅次郎の行方をつきとめたと思われる果てに梅次郎の行方を探る。水晶の玉は、件内の身体と共に分らなりました。そうしたところ、小次郎は必死に自分の父をたずねた春姫の乳母お茶の姿を見て、激しい疑念を抱きました。何故の助けか、激しく父三郎兵衛に問い正すのですが、父はかたくなに何も語りません。自分には母はなにもおぼろげに思っていた小次郎の心はさかむのです。若しや春姫はあの人ではないのか……意を決した小次郎は梅次郎の別邸に乳母お茶を訪れ、事件の経緯を知りました。同時に、悲憤にあふれた春姫、乳母お茶の暖かい眼差しに梅次郎の行方を探る。本所から来た悪人達の集り、本所からくり繰返して梅次郎の行方を探る。

つたのです。それは春姫にとつて悲しい知らせでした。「我れは雲取山の百人衆と共にあり、されば再び江戸に帰る。松平家を継ぐ意志なし、誓せよ」と。雲取山、百人衆。それは遠い昔にさかのぼるはなならない話です。

甲斐の國の武田家が滅びた時その武田の家臣百人がこの山にこもつたこと。雲取山の百人衆と呼ばれ、以後これらの人達の子孫は世界と一切交際を断ち、木こり猟師で生活をしてから今日に至りました。百人衆のおきてはさびしく、一塵仲間に入つた二度と扱ひることがゆるぎないといふ話です。梅次郎はそれを知つたのです。世捨人となりその山の長、新左衛門に可成りがられ、そしてその娘お品に嫁がれ、そのお品と結婚して生きていたのです。

つていますが、平和な世に慣れた今は再びみみくし殿様の世界に帰らうとせん……

民謡講習会

五日平市で
平岡光徳会、平市、キングレコード、KKR共催で五日午後二時と六時の二回に亘り平市公会堂日本館でキングレコード民謡講習会を催す。講師にはキング専属工藤千子、木村鶴子の両氏が当ることになった。曲目内容は五ツ木の千守唄、黒田節、斎大郎節、花笠音頭、真室川音頭、相馬音頭、秩父音頭、金津音頭、豊年音頭、ソーラン節、相馬草刈唄の十一曲で入場は無料。また団体申込みの場合は市工団まで。

海百万石 緑眼童子

剣の林をなぞつて、よき子無任のつり快大冒険

謎の剣士、果してたれ

明日3日封切 東映

女囚と美剣士

全女性必見/見るもの
すべて感涙にひせぶ感

監督 久松 静児

原 香川 京子 子代
木 美川 京子 子代
久 我 美 京子 子代
淡 路 恵 美 京子 子代
岡 田 美 利 恵 美 京子 子代
田 中 美 利 恵 美 京子 子代
安 西 美 利 恵 美 京子 子代
杉 花 千 子 子代
谷 津 栄 郷 子 子代
洋 子 子代

大都會選定・優秀映画賞 鑑賞会推薦

生きる欲びと真実の愛情を感動で つづる…兄と妹の愛の物語!!……

兄と妹

池部 良・司 葉子・原 節子

3日→9日 東宝系 民劇
(水曜日)(火曜日)

味自慢

中華そば 和洋食

◎小料理 ◎割烹 ◎寿し

(仕出し承ります)

◎出前迅速◎

奈加や

平市才館小路 電395

ダイヤモンド毛糸

全色揃ひました
半ボンド800円

ハシモトヤ糸店

平市銀座街 TEL14